

にしめら 議会だより



NISHIMERA VILLAGE

2023 5月
No.169

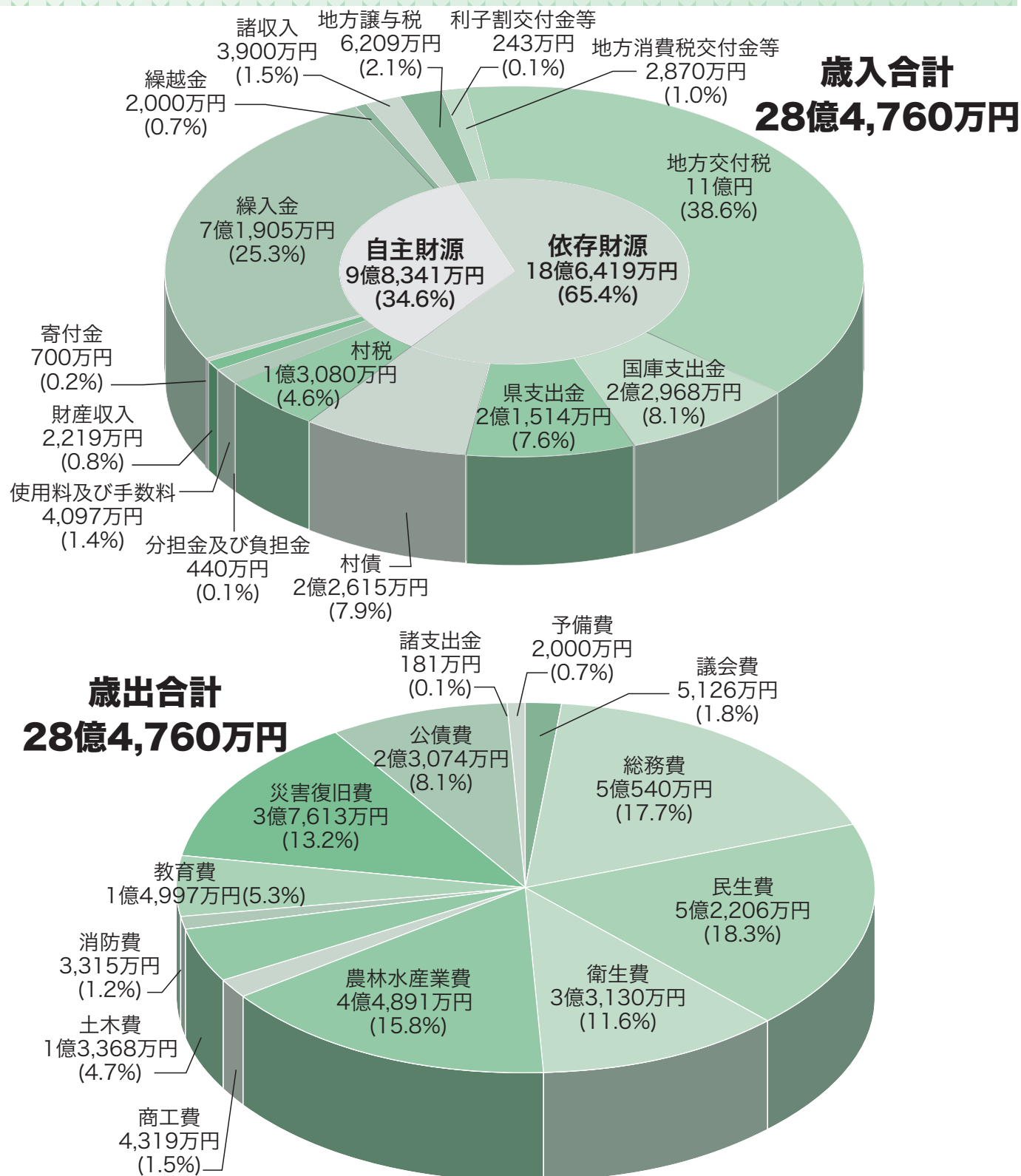
発行：西米良村議会

竹原地区のこいのぼり

- ◎ 第1回定例会 P 2
- ◎ 条例制定・改正 P12
- ◎ 現地視察 P13
- ◎ 常任委員会継続調査 P13
- ◎ 第1回臨時会 P16
- ◎ 監査室より P17
- ◎ 一般質問 P18

4,760万円

な村づくりの政策を反映



第1回定例会

条例制定・改正

現地視察

委員会調査報告

第1回臨時会

監査室より

一般質問

令和5年度一般会計 28億

幸せ度の高い持続可能

令和5年第1回定例会が3月3日から10日までの8日間開催された。

令和5年度一般会計及び特別会計の当初予算7件、令和4年度補正予算7件、条例制定（発議案含む）及び条例改正等11件、追加議案2件を審議し、すべてを原案のとおり可決した。

一般質問は村長に対し3名、教育長に対し1名が行った。

◆令和5年度一般会計・特別会計予算

会 計 名		令和5年度予算	令和4年度予算	前年度比
一 般 会 計		28億4,760万円	22億5,742万円	26.14%
特 別 会 計	国 民 健 康 保 険 事 業	2億6,118万円	2億7,223万円	△ 4.10%
	診 療 所 施 設 事 業	3億5,665万円	3億 299万円	17.70%
	介 護 保 険 事 業	2億 149万円	2億 876万円	△ 3.50%
	後 期 高 齢 者 医 療 事 業	2,511万円	2,257万円	11.30%
	簡 易 水 道 事 業	1億 847万円	8,942万円	21.30%
	下 水 道 事 業	3,100万円	3,436万円	△ 9.77%
合 計		38億3,150万円	31億8,775万円	20.19%

◆一般会計の主な事業

・インターネット回線構築（強化）事業	9,950千円
・互助運送事業	100千円
・デマンド（バス）運行事業	571千円
・移住定住対策事業	17,468千円
・高齢者定住住宅整備事業	135,760千円
・安心出産助成事業	725千円
・青ゆず収穫支援事業	4,000千円
・カリコボーズの宿リニューアル事業	129,273千円
・森林環境譲与税基金事業	18,615千円
・宮之瀬定住住宅設計委託事業	12,000千円
・リーディングDXスクール事業	1,000千円
・農業用施設災害復旧費	3,012千円
・林業用施設災害復旧費	132,593千円
・道路橋梁施設災害復旧費	240,526千円

令和5年度西米良村一般会計予算

村民が幸せを追求し、実現できる
環境整備に取り組む予算

歳入歳出予算の総額は28億4760万円で、前年度と比較して5億9018万円の増額となった。

各課長より予算概略について説明を受け審査を行った。

黒木敏浩 管理職は緊急

は？

時等で、責任の範囲や時間外勤務が増加しているが、管理職手当の増額見直しは？

答 管理職手当については

は県内状況を調査している。管理職としての立場を考慮し検討していく。

濱砂恒光 管理職員特別

勤務手当とは？

答 時間外勤務手当がない管理職（課長級）の災害時等における時間外勤務手当である。

白石幸喜 ふるさと納税

寄附者感謝品目数と企業版寄附者への返礼内容

答 感謝品は村内で加工された商品等が21品目ある。企業版ふるさと納税については、返礼品の決まりはなく村長からの感謝状とお土産品程度を返礼としている。

濱砂征夫 ふるさと納税

基金積立金の目的は？

答 納税者の希望に沿う事業への財源とするため寄付額の二分の一を積立している。

黒木敏浩 インターネッ

ト環境強化の内容と時期は？

答 上位回線を大きくし

インターネットのつながりを良くするもので、今年6月から利用できるよう準備を進めている。

白石幸喜 ファイアウォ

ール機器購入費とは？

答 後期高齢者医療広域連合回線への不正な侵入アクセスを防ぐための機器である。

濱砂恒光 越野尾活性化

センター及び消防団第三部詰所の建設場所は？

答 建設場所については館長より4月の越野尾自治公民館総会で決定すると聞いており、その後設計に入る予定である。

濱砂恒光 庁舎駐車場整

備工事費と村所驛待合室整備工事費の内容は？

答 庁舎駐車場整備工事は庁舎玄関前駐車スペースへの車輪止め設置、村所驛待合室整備工事は事務室との間に電動シャツ

ターを設置し、従業員が不在でも待合室が利用できるようにするためである。

児玉義和 ホイホイ便事

業業務委託の実績は？

答 日本郵便、ヤマト運輸、佐川急便、村内便がありメール便を含め令和3年度は13,945件、令和4年度は2月末現在で12,640件配送している。

上米良玲 浩然の気を養

う補助金の周知を各地区座談会で実施しては？

答 村広報等で周知しているが実績がない状況である。各地区座談会等でもPRし活用してもらうことで村及び各地区の活性化につなげていきたい。

上米良玲 デマンドバス

導入による人員確保と運行内容は？

答 運転手は現在雇用の

村営バス運転手を想定している。乗降場所、予約方法、利用料金等については今後検討する。

田爪朝幸 お試し滞在施

設の周知PR手段は？

答 移住・定住の相談者への紹介を中心に個別に実施している。必要であれば他のPR方法も検討したい。



お試し滞在施設

上米良秀俊 お試し滞在

施設の利用状況は？

答 令和4年度は2件（10日宿泊）の利用があった。令和5年度は1カ月宿泊を1件、10日程度

宿泊を3件見込んでいる。

児玉義和 移住支援金及び移住支援金返還金の内容は？

答 移住支援金は県補助と合わせて1世帯100万円、単身者30万円、世帯加算100万円となっている。移住支援金返還金は県外からの移住者が退職したことによる県補助金返還分である。

上米良秀俊 庁外に設置する移住・定住対策室の場所と職員配置は？

答 現在、アイロードが使用している旧商工会館を利用し、職員2名を派遣する予定としている。

濱砂征夫 高齢者住宅への入居条件は？

答 基本的に自立生活可能な方を想定しているが、今後検討し条例等を定めていくことになる。

上米良玲 高齢者住宅へ

のスタッフ常駐は？

答 常駐は考えていないが、昼間は集落支援員による見守りと見守りシステムを活用した安全管理を行っていく。

児玉義和 高齢者住宅用備品購入費の内容は？

答 1〜2カ月の入れ替わり入居と入居者の負担軽減を考慮し、テレビ・冷蔵庫・IH・ベッド等を備え付けにする予定である。

上米良秀俊 臓器移植ドナー登録への推進対策は？

答 現在は県からのリーフレットを配布しているが、今後はドナー登録への啓発を更に進めていく。

田爪朝幸 タクシー利用券の利用率と、商品券としての利用はできないか？

答 利用率は例年2割程

度となっている。タクシー利用券は村民の移動手段を目的とした制度となっているので、地域経済活性化等につながる商品券への利用は考えていない。

黒木敏浩 広域保育委託の利用状況は？

答 里帰り出産等で利用できる事業である。令和3年度、令和4年度の実績はないがそれ以前は数件の利用があった。

上米良玲 放課後児童クラブ支援員等の村外募集の考えはないか？

答 現在、支援員1名、補助員3名で対応している。勤務は午後からであり村外への募集が難しいため、村内の人材を活用して運営していく。

白石幸喜 家庭用井戸掘削補助要件の3戸以上を1戸にできないか？

答 地形や環境により確実に井戸水が出るものではないため今後検討していく。

濱砂恒光 一般家庭飲料水施設整備補助金の増額理由は？

答 令和4年度に予定していた水道組合1件、個人1件の工事が台風により整備できなかったため令和5年度に予算を繰り越したことによる増額である。

田爪朝幸 ユズ残渣を利用したゆず牛販売の予定は？

答 現在、肉質A4ランクのゆず牛を枝肉まで加

工しており、村内販売に向けて準備を進めている。

濱砂征夫 村内各施設への管理運営委託料が増額になった理由は？

答 原材料価格や物流費、光熱水費等の高騰を鑑み施設の規模によるが、昨年度より1割から5割程度増額している。

濱砂恒光 山村振興費の修繕料の内容は？

答 双子キャンプ場修繕料は既存コテージの修繕、小川作小屋修繕料は杉皮屋根及び木製柵の修繕、温泉施設修繕料はサウナ室の修繕等である。

上米良秀俊 ワーキング

★期間・数量限定★

★A4ランク★

西米良産

『ゆず牛』

カット肉販売

★村民特別価格★

2,000円 (1パック 500g)

※100g 400円

『ゆず牛』って？

『ゆず牛』とは、ゆずの加工品を製造する過程で発生するゆずの残渣等ではんだエサ（ゆず残渣やイレージ）を子牛から食べさせた肉質の良いことです。西米良産生まれ、育った『ゆず牛』のお肉をこの機会にぜひご賞味ください。

★販売場所／JA西都西米良支所売店

「ゆず牛」販売チラシ

ホリデー業務運営委託料（18万円）を減額予算計上した理由は？

〔答〕 近年はコロナ過で実績はないが問い合わせはきている。村内産業のマンパワー不足解消につながることを踏まえ予算計上した。

〔児玉義和〕 カリコボーズの宿リニューアル工事費の内容は？

〔答〕 第2期敷地造成工事として敷地造成工事、オートキャンプ場整備、井戸掘削工事等である。全体完成を令和6年度に予定している。



キャンプ場整備の様子

〔黒木敏浩〕 獣害対策の捕獲状況とジビエとしての販売先は？

〔答〕 前年度と1月末比較で249頭少ない状況である。

販売については日本ジビエ振興協会が窓口となり、大手卸売商社を仲介し都内のホテル、レストランに向けた販売プロジェクトを開始し、ジビエを活用した新たな需要の拡大につなげている。

〔児玉義和〕 森林整備事業委託料の内容は？

〔答〕 森林環境譲与税の事業で、母樹林とモデル林の下刈りを予定している。

〔上米良秀俊〕 桃源郷トンネル点検診断委託料の内容と竣工予定は？

〔答〕 法律で定められている5年に一度の点検であり、竣工は来年度を予定している。

〔上米良秀俊〕 林道長谷・児原線の竣工予定は？

〔答〕 林道災害により令和4年度改良工事が発注できず遅れが生じている。

土質も悪い箇所があり業者も苦慮している。今後早期完成へ向けた予算確保を県に要望していくので議会の協力もお願いしたい。

〔田爪朝幸〕 西米良村PR等広告料の内容は？

〔答〕 MRTテレビ広告198万円、FMラジオ広告343万円、みちくさ広告260万円、UMKテレビ広告35万円、その他200万円となっている。

〔白石幸喜〕 苗木管理委託料の内容は？

〔答〕 モミジ苗木1000本を委託しており、個人への配布と村有地や村施設

の周辺への植栽を予定している。



モミジ苗木配布の様子

〔黒木敏浩〕 消防活動用備品購入費の内容は？

〔答〕 消防活動服、消防ホース、小型動力ポンプ、発電機の購入である。

〔濱砂征夫〕 民俗資料館費の支障木伐採業務委託料の内容は？

〔答〕 民族資料館近くの台風で傾いた木の伐採と建物や通行に影響がある支障木の伐採を予定している。

〔白石幸喜〕 山村広場は利用がなくグラウンドも整

備されていないが維持していくのか？

〔答〕 ソフトボール大会や花火大会の駐車場、またドクターヘリのランデブーポイントにもなっており、今後も維持管理していく。

〔上米良玲〕 用地購入費の内容は？

〔答〕 村所桐原の国道沿いの用地を土地所有者との交渉で購入した。若者定住住宅の駐車場として利用を予定している。



村所地区桐原用地

田爪朝幸 村有林等売却収入の内訳は？

答 竹原尾春（面積3ha、2000㎡）、小川古川（1・2ha、800㎡）のスギ・ヒノキである。

以上のような質疑がなされ、慎重に審査した結果、令和5年度西米良村一般会計予算については、原案のとおり承認すべきものと決した。

特別会計

◆国民健康保険事業

田爪朝幸 肺がん検診負担金減額の理由は？

答 前年度肺がん検診の実績を基に算出し減額となった。

濱砂恒光 施設管理費賃借料減額の理由は？

答 国保集約運用パソコンリース契約が満期を迎

えるシステム標準統一化の6年度開始予定に合わせ、パソコンを継続し使用するため減額となった。

黒木敏浩 保険者努力支援制度の交付額は、保険者の努力により変動するのか？

答 保険者が村民に対して行う、検診の受診率向上や保健指導の実施向上のための取り組み等の努力や、国保税の収納率などを元に反映され、交付額が決定される。

上米良秀俊 保険税統一についての状況は？

答 現時点で、資産割を除いた所得割、均等割、平等割の3方式で、6年度より対応可能市町村から随時移行することが決まっている。

本村は税率が低いため、標準化を行うと税率が上

がってしまうが、方式変更された自治体の先進事例を参考に村民負担の軽減に努め移行したいと考えている。

児玉義和 保険税統一化に向けた村の取組について啓発は？

答 村の広報誌を活用しながら、しっかりと伝えていきたい。

田爪朝幸 マイナンバーカードで診療所受付は何時から使用できるのか？

また、現在使用している保険証の取り扱いは？

答 診療所、歯科ともに3月1日から使用できる。保険証の処分は決定していない。カード紛失や暗証番号の忘れを考慮し携帯して頂けると良い。5年度も例年通り交付予定である。

黒木敏浩 団塊世代の後

期高齢者医療移行に伴う運営についての考えは？

答 団塊世代が移行される段階にきている。本村では国民健康保険の被保険者は減少傾向にあり、後期高齢の方は横ばいで減少傾向にある。

今年度保健師を1名追加し、後期分野での一体的実施ということから、国保から後期へ変わる方への切れ目のない支援が出来るよう取り組みを始めている。

濱砂征夫 透析患者である通院移動困難者への対応は出来ないか？

答 移動手段については検討しているが、透析に特化した手段についてはまだまだの状況である。透析に限らず、必要だと言うことであれば社協の福祉有償運送も考えられ

るが、マンパワー不足もあり、今後検討をさせて頂くが非常に難しいところではある。

◆診療施設

濱砂恒光 業務委託料増額の理由は？

答 スプリングラー設置、業務管理委託280万円が主な増額となっている。

白石幸喜 スプリングラー工事開始時期と期間、設置範囲の予定は？

答 消防法改正で面積に関係なく7年6月末までに設置が義務付けられた。9月入札で、約6カ月

間、診療の合間を縫って工事を行い年度内完成予定で、範囲は診療施設1〜3階の設置を予定している。

黒木敏浩 5類移行後のワクチン接種の対応は？

答 宮日の新聞によれば、

4月以降のコロナワクチン予防接種について、65歳以上の高齢者、基礎疾患を持つ重症化リスクの

高い方、医療介護従事者については年1回の接種で、

健康な方は年1回の接種で、料金は無料接種期間を2

024年3月まで延長し、以降は費用の一部徴収可

能な定期接種へ切り替えることも視野に入れ検討

をするとある。

児玉義和 診療所職員の現在の状況と募集状況は？

答 現在、正職16名、会計年度職員11名と歯科診療所が正職3名の合計30

名の職員がいる。

募集は、宮日新聞、熊日新聞に会計年度職員の募集を掲載させて頂いた。

黒木敏浩 個人情報保護

の観点から秘密厳守は当然であるが、民生委員の活動に当たり情報が必要

だとお聞きした。情報共有についての考えは？

答 民生委員の方々の地域に対する貢献度は大きい。コロナ禍により

感染の有無が分からず行きたつた。

必要な情報は提供すべきではないかと考えている。情報の連携が上手く

繋がらない部分はあるが、活動に繋がるよう努めて

参りたい。

児玉義和 住宅改修費の状況は？

答 令和4年度の状況は、7件と現在申請中が1件

となっている。実績は、56万円となっている。

白石幸喜 介護認定審査会負担金40万円、介護認定調査等委託料19万8千

円の内容は？

答 介護認定審査会負担金は、村単独では審査会

実施が難しかったため、西都市と合同で5名の審査委員に来て頂き審査会を

実施するための負担金となっている。

介護認定調査等委託料は、介護認定を受けるた

めのケアマネージャーの調査費となる。

児玉義和 介護予防運動教室の内容は？

答 介護予防運動教室は、生きがい通所介護業務と生きがい通所介護業務の内容は？

答 介護予防運動教室は、生きがい通所介護業務と生きがい通所介護業務の内容は？

白石幸喜 介護予防運動教室運営業務と生きがい通所介護業務の内容は？

答 介護予防運動教室は、生きがい通所介護業務と生きがい通所介護業務の内容は？

答 介護予防運動教室は、生きがい通所介護業務と生きがい通所介護業務の内容は？

答 介護予防運動教室は、生きがい通所介護業務と生きがい通所介護業務の内容は？

答 介護予防運動教室は、生きがい通所介護業務と生きがい通所介護業務の内容は？

答 介護予防運動教室は、生きがい通所介護業務と生きがい通所介護業務の内容は？

ジが強いが、介護予防運動教室と言う意味では、いつから始めても早すぎることはないため、筋力

アップ運動を推奨しながら、男性だけの運動教室も併せて検討していきたい。

生きがい通所介護業務は、コロナの影響で閉鎖

や自粛された方もおり利用者が増えているが、天

包荘もデイサービスの利用者増に努めていきたい

と言われている。

上米良秀俊 認知症初期集中支援事業の内容は？

答 在宅で生活の認知症の方、認知症が疑われる方と、その家族に対する

専門職による支援事業で、目的は住み慣れた地域で

長く生活していけるよう早期発見・治療に繋げる

介入、地域住民向けの勉強会や普及啓発活動の実

施等や認知症の方や家族の方に対する早期介入、

地域住民に認知症の正しい理解をして頂く取り組みの事業となる。

黒木敏浩 第9期介護事業計画策定委員会に向け

た懸念事項は？

答 3年ごとに改正で、高齢者保健福祉施策の基

本的な考えや具体的な取り組み対策を明らかにし、

高齢者保健福祉施策や介護保険事業の方向性を示

すと共に、介護保険事業に係る保険給付の円滑な

実施の確保を目的に策定するもので、地域の現状

と利用者数の見込み等を調査し課題の掘り起こし

を行う。今の段階では不明だが、慎重に計画を作

成していきたい。

答 3年ごとに改正で、高齢者保健福祉施策の基

本的な考えや具体的な取り組み対策を明らかにし、

高齢者保健福祉施策や介護保険事業の方向性を示すと共に、介護保険事業に係る保険給付の円滑な

◆後期高齢者医療事業

濱砂恒光 グランドゴルフ大会の実施状況は？

答 年1回開催で、2年度から4年度は開催していない。5年度は開催を計画している。参加者は、100名近くの方に参加して頂いている。

白石幸喜 各種検診等の周知方法と未受診者への対策は？

答 対象者の方にリーフレット等を入れ郵送で検診の勧奨を行っている。



周知用リーフレット

がん検診等についてはハイホイラインでお知らせし勧奨している。

未受診者の対応は、保健師が個別訪問し指導をしているが、中々お会いできない案件もあると聞いている。

濱砂征夫 後期高齢者の保険料が2段階に分けられる。所得の境と人数は？

答 窓口負担の1割負担は非課税の方で、2割負担は同一世帯に住民課税所得が28万円以上の被保険者がいることが条件で、3割負担は住民課税所得が14.5万円以上の方となっている。

人数は、1割負担231名、2割負担31名、3割負担3名となっている。

◆簡易水道事業

上米良玲 今後の耐震化に対する水道管の対策工事はなされているのか？

また、空き家等における冬の水道管の凍結防止対策は？

答 村所地区については、診療所があると言うことで昨年度対震管の整備を行っている。令和5年度から上米良地区の水道施設整備を予定しているが、その整備内容として対震管が使用されてくると思われる。その他の地区については、既存の水道管の耐用年数に応じて随時計画をしていく。

空き家の水道については、メーターまでは西米良村の所有物となっているため、冬場の対応については職員の方で再度検討して、開閉等の対策に役立てたい。

討して、開閉等の対策に役立てたい。

白石幸喜 上米良地区の上水道整備については、何時ごろの完成予定か？

また、この工事に係る住民に対する説明会等は予定しているのか？

答 令和5～7年で工事を計画している。用水管は現在の取水口から取り込み、施設は別のところ

に設置する予定。住民への説明については、地区総会時に行えるよう調整している。今回の整備計画区域は、一ツ瀬川の右岸側のみを予定している。

黒木敏浩 水源地向かう施設管理路についての整備計画はあるのか？

答 現在、越野尾地区の水源施設管理路を整備している。他の地区については毎週職員が見回り

を行っているが、現在悪いところはない。



管理路整備の様子

上米良秀俊 井戸の掘削について、現状は3名以上の受益者がないと対応できないことになっているが、1人にも対応していただき、村民1000人全員が笑える村にして頂きたい。

答 他の自治体の情報を取得するなど研究し、良い方法を見出したい。対象戸数についてもこの場では即答できないので、要望として受け協議して

いくこととする。

◆下水道事業

白石幸喜 技術的援助委託料の内容を伺いたい。

答 下水道事業団と委託契約を結んでおり、施設の運用等について指導を受けている。5年度は、災害協定も結び管理をしていく。

上米良秀俊 企業会計に移行するまでの進行状況等について説明を願いたい。

答 移行するために令和3年から(株)ぎょうせいと契約をしている。現在、資産価値等の集計が終わり、10月までにシステム構築を行い、令和6年度当初予算から組み込む予定である。

上米良秀俊 令和6年度から予算書等の様式が変わるのか？

答 その通りである。

補正予算

台風災害の影響により 各種工事の発注がでず

人件費の調整、入札執行残等による不用額の1億8033万9千円を減額し、歳入歳出ともに総額28億9917万8千円とする一般会計予算及び特別会計予算を可決した。

◆特別会計

○国民健康保険事業

228万5千円を増額
総額3億767万8千円

○診療施設

819万8千円を減額
総額3億3317万4千円

○介護保険事業

1183万1千円を減額
総額2億3789万3千円

○後期高齢者医療事業

36万6千円を減額
総額2430万円

○水道事業

1188万円を減額
総額9198万5千円

○下水道事業

1万9千円を減額
総額3820万7千円

◆一般会計予算

上米良玲 文化財保護費の旅費と備品購入費の内容は？

答 米良神楽が国指定を受けた関係で、職員2名分と保存会1名分の旅費を計上している。備品購入費については、村所、越野尾、小川神楽ののぼり旗、看板、懸垂幕の作成費用である。

児玉義和 繰越明許費の温泉館地質調査設計委託の説明文の中に、関係機関との調整や協議に日数を要するためとあるが、具体的に？

答 温泉館と言うこともあり、お客様に不快な思いをさせないようにするための調整と業者の日程調整ができなかったためである。

日程調整ができなかったためである。

田爪朝幸 第三セクター支援補助金500万円の内容は？

答 温泉施設への燃料高騰等による経営難に対する支援である。

児玉義和 森林経営意向調査委託料、森林整備事業補助金の減額の理由は？

答 委託料の減額は、意向調査対象者の減によるものである。

事業費補助金の減額については、村単独事業である造林事業、ネット事業の事業費確定によるものである。

白石幸喜 繰越明許費の小八重地区の被災家屋解体工事及び土砂除去工事が繰り越された理由と工事着工の時期は？

答 1月末に入札を終え、3月中旬から5月末にかけて工事予定である。出水時期までには完了する予定である。

白石幸喜 協力員のカバンについてアンケート調査の結果は？

答 従来からのカバンが使い勝手が悪いとのことで調査をして、4年度に7地区の入れ替えをしたところ好評であるので、今後徐々に入れ替えていく。

児玉義和 桐原住宅は、雨漏りがひどいということなので、早急に対応をお願いする。

◆一般会計予算

○診療施設

白石幸喜 生涯学習推進大会設備委託料に関して、減額は執行残だと思うが、推進大会当日の音響が非常に悪く残念に思った。専門家とも打ち合わせはなされているだろうが今後の対応は？

答 減額については、講師謝金の減額である。推進大会での音響についてはアンケートの中でも指摘を受けたところである。

今後は、専門家とも十分協議しマイクを移動させて音を拾う方法とか、演者も聞く側のことを考えて発表するなど指導していきたい。

児玉義和 村営住宅修繕料の内容容は？

答 桐原住宅のエコ給湯器が故障したことによる修理と、若者定住住宅の畳の入れ替え費用で

っていない。

先日宮日新聞にも募集をかけたところだが、今のところ反応はない。引き続き募集をかけていく。熊本県の方にも募集をかけている。

○介護保険事業

白石幸喜 地域支援事業費の減額理由は利用者の減少によるものとあるが、その原因は？

答 一番大きな要因としては、コロナ禍において感染防止の徹底を行い、施設の利用制限をした関係で減少したものである。

追加議案 補正予算

◆一般会計

歳入歳出それぞれ433万1千円を追加し、総額29億350万9千円となった。

上米良玲 温泉施設ボイラー修繕費の内容と営業への影響は？

答 平成26年入れ替えのボイラー1機の取替修繕を予定している。3月中の工事で工事期間は1日～2日で営業には特に影響がないと聞いている。

◆特別会計

○水道事業

歳入歳出それぞれ92万1千円を追加し、総額9290万6千円となった。

田爪朝幸 消費税額が規定額を超え納税が必要な事業所になったとあるが、昨年度までは必要なかったのか？総額はいくらになるのか？

答 今回の事案が発生したのは今回が初めてとなる。納付すべき消費税額は71万7900円、地方消費税額は20万2400円、総額92万300円となる。



条例の制定

①村職員の修学部分休業に関する条例の制定

○村職員が大学等の教育施設で修学する為、休業できるようにする制度。

②村職員の配偶者同行休業に関する条例の制定

○村職員の配偶者が海外に移住滞在する際、同行のため休業出来るようにする制度。(3年以内とし期間中の給与支払いは無し。)

③村個人情報保護法施行条例の制定

○個人情報に関する法改正に伴い「保護条例」を廃止し「保護法施行条例」を制定する。

条例の改正

①村出産祝い金支給条例の一部改正

○村の出産一時金事業に国の経済支援5万円を上乗せする。これにより支給額は第1子で10万円、第2子で20万円、第3子で35万円となる。

②村一般職の給与に関する条例の一部改正

○職員の給料体系を5級制から、他の町村と同様に6級制へ改正する。

白石幸喜 6級制導入で管理職を中心に給与が上がると思って良いか？

○答 4級の課長補佐が5級へ、5級の課長が6級となり、給与が1000円〜1500円ほど上昇する。

白石幸喜 西米良村はラ

スパイレス指数も低い。職員の給与体系も時代に合わせてしっかりと整え

てほしい。

③村消防団条例及び村特別職の職員で非常勤のもの

の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正

○消防団員の処遇改善を図るため、災害や救助などの出動手当を増額する。

④村災害避難等住宅の設置及び管理に関する条例

及び村営住宅管理条例の一部改正

○松之本住宅の災害避難等住宅のうち2棟を村営住宅として編入する。

上米良玲 避難者の方が

住み続けるための村営住宅編入と思うが、残りの2棟も村営住宅に編入する考えは？

○答 今後の災害に備え、残りの2棟は避難住宅として残しておきたい。

上米良玲 新たな避難住

宅の計画は？
村長 現時点で予定は無

いが、今後の災害の可能性を踏まえ、宅地整備等を含めて検討をしていく。

法改正に伴い、所要の改正を行う。

規約変更

情報公開・個人情報保護審査会を共同設置する

地方公共団体の数の増加及び規約の変更

○審議会に下記の3団体を追加し、規約を変更する。

(1)西都児湯環境整備事務組合

(2)高鍋・木城衛生組合

(3)川南・都農衛生組合

黒木敏浩 審議会に加入する団体が増加することだが負担金の変更等はあるのか？

○答 今後の経費、決算を見て、事務局の新富町から負担金の割合、変更等が示されるものである。

⑥公の施設に関する条例の一部改正

○個人情報保護に関する

現 地 視 察



①板谷地区、吉村谷
村分収林伐採及び作業道開設状況



②小川地区、古川
モデル林、母樹林整備事業

総務文教常任委員会継続調査

委員長 上米良 玲

村単独補助金条例に関する事項について、交付状況の実績と村単独補助金条例と要綱について調査を行った。

西米良村商工業振興事業補助金は、平成27年度より5年間の補助事業で、本村の商工業を振興し、地域経済の安定、発展、継続等を図るため、商業

の活性化、商工業の振興のために行う事業等に必要な経費に対し補助金等を交付する事業で、事業後継者の新規起業に伴う設備投資や既存店舗の設備等の更新、宿泊施設等観光基盤整備事業などに

対し、27件の実績があり総事業費、3863万6239円の事業費に対し

2322万6000円が交付をされている。

事業は、期限付き事業で終了しているが、人口減少による客数の低下や売り上げ減少、店舗等の老朽化が進む中での改修や設備の更新に踏み出せずにいた事業所や、事業後継者の意欲にも繋がらず、地域の活性化を担う商店街や村内事業者にとって、この事業の目的である村内の商工業の振興や地域経済の継続等に寄り添え

た事業ではなかったかと考えている。

起業等促進支援事業は、産業の振興と村内雇用の拡大を図り、地域の生産力の増強と村民所得の向上を図ることを目的に平成26年度より実施をされている。

事業では、施設等新設に係る取得費の助成や空き店舗等の一部又は全部を事業所等として整備し、新たな事業開始に要した費用への助成や村内で新規に起業し、又は村内事業者が新たな分野に事業を拡大することで、新たな雇用を創出する事業主に対し新規雇用創出奨励金を交付する事業を行っている。

実績は、施設等新規支援金が3件（1150万円）、空き店舗等活用起業促進支援金が4件（1000万円）、新規雇用

創出奨励金が現在交付分も含め年度別換算で、13件（2400万円）利用されている。

委員会での意見として次の事項が上げられた。

活用されている事業者に偏りがあるのではないかと
①新規雇用創出奨励金の対象者が定住に繋がっていないのではないかと
②交付された事業に対する実績の報告はされているのか。

③交付された事業の現在の状況はどうなっているのか。
④小規模の事業者は利用しづらいのではないかと。

今後、条例や規則の見直しの検討もされているので、今回は各委員より出された意見を伝えることで閉会となった。

2回目は、前回意見の回答と事業の方向性について説明を受け、以下の

回答がなされた。

①支援金上限額設定も視野に入れ条例、規則等の見直しを行う。

②新規事業の取り扱い、考え方について明確にする。

③事業継承、継続のための新規雇用者に対する人件費等の支援を検討。

④商工業振興事業補助金の拡充（商業基盤支援事業等の再開）を検討する。

以上を踏まえ商工会や事業者等の意見を聞き、新規の起業の促進や環境整備、既存事業者が利用しやすい支援と皆が納得できる支援等について模索していくとの返答を頂いた。

報告を受け委員会では、条例や規則を厳しくしすぎると良い事業であって活用されなければ意味がなく利用されていない

事業者や利用された事業者がさらに活用しやすい見直しを行う事と活用された事業の状況を明確にすることで、利用促進と村民への理解が得られ商業の振興や村内の雇用に繋がるのではないかとの

意見も出た。

見直しの時期については、現時点では不明との事だが、地域の活性化を担う事業者に対し明るい兆しとなるような事業になることを切に願いたい。

農林振興建設常任委員会継続調査

委員長 児玉 義和

調査内容については、「森林環境譲与税について」ということで、①本村における事業の進捗状況についての座学調査、②本事業における先進地の現地調査を実施した。本件については、令和3年度にも調査を実施しているが、なかなか難しく、事業内容が解りにくい点もあるため、本年度も実施することにした。

調査内容については、令和3年度にも調査を実施しているが、なかなか難しく、事業内容が解りにくい点もあるため、本年度も実施することにした。

今回は、令和4年度の予算と事業計画等について説明をいただいた。この譲与税については、前にも述べたように資金使途についてかなりの制限があり、どの自治体も基金として積み立てる額が増えているとの事である。

林整備の促進に関する施策等について詳しく説明を受けた。

2回目は、この森林環境譲与税の使途についての先進地である、日之影町の現地調査を実施した。調査には町長以下2名に対応いただき、担当者から今回の目的である森林環境譲与税の使途について、提示された資料により説明をいただいた。

はじめに、令和3年度の実績について説明があった。特に興味深かったのが「地域林政アドバイザー事業」と銘打つての事業で、年間約520万円の予算を計上し、「林政アドバイザー1名」を雇い入れるという事業である。内訳としては、自己負担が500万円で譲与税充当額は12万円足らずではあるが、この役割

とその効果は多大なものがあると感じた。

内容は、日之影町出身で、県の林政部門を経験され定年退職された方を雇い入れているというもので、この方の専門的な知識と経験が大いに役立っているとの事であった。本村においても、このような人材の確保が必須であると感じたところである。ちなみに、日之影町の譲与税額は、令和3年度分が38,329千円であり、本村は28,755千円である。次に、令和3年度森林環境譲与税の導入による効果（抜粋）について説明があった。①アドバイザー1名を雇用することで、森林、林業行政の体制強化が図られ、様々な施策の展開や森林計画制度の意向調査（19名86ha）等に取り組

むことができた。②町単独森林整備事業では、森林整備に必要な経費を支援することができ、森林を適正に管理することができた（造林、下刈り、間伐、防護柵等）。③林道等強靱化事業では、森林整備の基幹道として木材搬出等に利用される森林基幹道の、のり面等の草木を除去することができた。④有害鳥獣捕獲対策業務委託事業では、シカによる森林被害を軽減するため、西臼杵森林組合に有害鳥獣捕獲業務を委託できた（5名採用 捕獲実績260頭）。続いて、令和4年度の使途計画（譲与税額61,985千円）について説明をいただいた。①アドバイザー事業は4年目に入るが、継続的に従事して頂くことを願っている（自

己負担500万円＋譲与税）。②担い手創出住宅整備事業では、林業担い手が町内にとどまれるように、担い手用の住宅を整備する。（1棟2戸 26,000千円 3年間の居住が可能で、その間に新たな住まいを確保する。（新規就業者対象）③林福連携事業では、社会福祉協議会と連携し、町内で発生する未利用材を活用し、福祉施設で商品化することで木材の有効活用を目指す（マキ作り）。④林道等強靱化事業900万円、町単独森林整備事業930万円、有害鳥獣捕獲対策820万円。今後は、ジビエ施設設置も試案している。新事業としては、「HＭブロック」の設置事業、林道等の維持管理（側溝保護）のための二次製品を日向

市内の「和光コンクリート（株）」と連携して作成し、12月から設置開始していくとのことであった。

【調査を終えて】

譲与税の使途については、国の判断もあり難しいところではあるが、日之影町においては、林務に精通している県職OBを雇い入れ、幅広い分野

にこの譲与税を投入しておられ、地域の特性を踏まえた森林整備等に関する施策を推進しておられるように感じた。

本村においても色々な分野に目を配り、効果的な予算配分がなされ初期の目的である「森林の整備」が着実に進むことを期待しているところである。

議員発議

西米良村議会の個人情報の保護に関する条例

個人情報保護法が改正され、従来、個人情報取扱事業者、国の行政機関、独立行政法人等、地方公共団体等に係る個人情報の保護については、別の法令に定められていたが、統合され、かつ国の機関である個人情報保護委員会が当該法律を統一的に解釈運用することとなり、全国的な共通ルールの下で、的確な運用が図られることとなったが、個人情報保護法の規定が地方議会は原則として適用対象外とされ、議会独自の条例を制定する必要があるため。

第1回臨時会(R5/2/8)

議案の採決結果

全員賛成で可決した議案等

令和4年度補正予算 一般会計補正予算(第7号)

第1回定例会(R5/3/3~10)

議案の採決結果

全員賛成で可決した議案等

条例の制定	村職員の修学部分休業に関する条例の制定
	村職員の配偶者同行休業に関する条例の制定
	村個人情報保護法施行条例の制定
条例の改正	村出産祝い金支給条例の一部改正
	村一般職の給与に関する条例の一部改正
	村消防団条例及び村特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正
	村災害避難等住宅の設置及び管理に関する条例及び村営住宅管理条例の一部改正
	村税の徴収等の特例に関する条例の一部改正
規約変更 発議	公の施設に関する条例の一部改正
	情報公開・個人情報保護審査会を共同設置する地方公共団体の数の増加及び規約の変更
令和4年度 補正予算	村議会の個人情報の保護に関する条例
	一般会計補正予算(第8号)
	国民健康保険事業勘定会計補正予算(第5号)
	国民健康保険診療施設勘定会計補正予算(第5号)
	介護保険事業勘定会計補正予算(第3号)
	後期高齢者医療事業補正予算(第3号)
	簡易水道事業補正予算(第5号)
	下水道事業補正予算(第4号)
	一般会計補正予算(第9号)
	簡易水道事業補正予算(第6号)
令和5年度 予算	一般会計予算
	国民健康保険事業勘定会計予算
	国民健康保険診療施設勘定会計予算
	介護保険事業勘定会計予算
	後期高齢者医療事業予算
	簡易水道事業予算
	下水道事業予算

第1回臨時会

補正予算

◆一般会計

主な歳入は地方交付税の増額で、歳出は台風14号に伴う災害復旧費である。歳入歳出にそれぞれ3億1370万7000円を追加し、総額30億7951万7000円となった。

田爪朝幸 農地農業用施設災害復旧工事の場所は？

答 対象箇所が4カ所あり、そのうち縄瀬、田無瀬、竹原(天包山)の3カ所を今回計上している。

濱砂恒光 農林水産業費230万円の増額は台風災害

となっているが、場所と休業日数は？

答 道路不通によるおがわ作小屋村への支援で、9月から11月、48日間の休業に對して計上している。

黒木敏浩 特別交付税の交付は通常3月末だがこの時期の理由は？

また台風14号の災害が激甚指定されたことで、補助率はいくらになったのか？

答 特別交付税は12月と3月に2回交付がある。今回は12月分を計上している。災害復旧費の補助率については、全ての災害査定が済んでいないためまだ確定していない。林道の被害16カ所は全て激甚災害指定、村道の被害22カ所のうち20カ所が激甚災害指定、2カ所が通常の豪雨災害となっている。農地農業用施設の被害4カ所は全て激甚災害指定で、こちらは現在97・1%の補助率ということで県に報告している。

児玉義和 起業等促進事業審議会の委員謝金と旅費が計上されているが、審議会の内容は？

答 現在申請が上がってきており、まだ審議会開催前の段階である。予算承認後、審議会を開催するという流れになる。

監査室より

役場、各課毎に定期監査を実施しましたので、その結果を評価される業務、指導改善を求めた業務について報告いたします。

◆指導改善を求めた業務

○村の観光施設は昨年との同時期と比較し、新型コロナウイルス感染症も沈静化に向かい入込客も売上額も回復傾向にあるが、観光のメイン施設である温泉館では、施設の老朽化が進み、台風被害以外にも

長期間の「危険、使用不能」等の貼り紙や、洗い場の水漏れ状況が見られた。計画的な維持管理を行い、お客さんが気持ち良く入浴できる環境を保つ必要がある。（むら創生課）

○昨年の台風災害では多くの村民が、これまでに経験したことのない長時間の停電、断水等に見舞われ不安と不便な生活を強いられたが、その中でも情報の少なさに戸惑いを感じられた方々も多かったと思われる。

道路の状況、停電、断水の

現状説明等、停電でホイホイ通信が使えなかったのは理解できるが、広報車や消防車両を活用した周知活動が必要であったと思う。

また、各自治公民館毎に設置されている、自主防災組織を強化し、行政や消防団に依存するだけではなく、自主的な防災行動を促すことも今後の課題である。（総務課）

○ホイホイ通信のアナウンスについては、若い職員の皆さんが交代で担当してくれているようだが、話す速度や音量によつては聞き取りにくいことがあり、せっかくの情報が得られないことがある。基本的な話し方、音量の調整等先輩職員からの指導、研修も必要ではないか。（総務課）

◆高く評価される業務

○長年の懸案であった西米良神楽（村所神楽、小川神楽、越野尾神楽）が「米良の神楽」として、西米良村、西都市、木城町の6神楽で国の文化審議会より文部科学大臣に国指定文化財への答申がなされ、令和5年3月22日付けで「国の重要無形民俗文化財」に指定された。

指定に向け中心的役割を担って、対外的なことを含め努力された教育委員会の活動は大いに評価される。（教育委員会）

○子育て支援から高齢者福祉まで、幅広い業務をしっかりとした体制で推進されている。昨年は国内で園児の不慮の事故死が立て続けに発生したが、村のふたば園では、園児の登園、欠席確認には担任、園長による保護者との細やかな連絡が行われている。また、園長によるふたば園便りが月に

2回保護者向けに発行され、園の様子が克明に知らされており、保護者の安心感が得られているようである。（福祉健康課）

○高齢者福祉では、通いの場が小川、村所に続き板谷、上米良にも開設され、生き生き教室（村内7教室）と共に高齢者のおしゃべりや健康体操、脳トレーニング等を行い、女性ボランティアの方々等の指導により、楽しく充実した活動の場が高齢者に提供されている。社会福祉協議会との連携や指導される方々への敬意と共に高く評価される活動である。（福祉健康課）



委員 征夫 濱砂
監査委員



委員 正近 黒木
代表監査委員

一般質問

上米良玲 議員



人口減少の対策は

▼ 移住から定住につなげたい

西米良村では、第6次長期総合計画を策定され、様々な取り組みを行っている。

日本では、全国的な人口減少が進んでいくと言われているが、人口の少ない本村にとって人口減少問題は避けては通れない課題として、様々な施策を打ち出し人口減少対策を講じられているが、なかなか打開策の見出せない状況にある。

ない状況にある。

村長は、村長選挙に臨むにあたり前村長の意志を引き継ぎ、全身全霊、真つすぐな気持ちで村政運営に取り組み行くと、村民に対し力強く訴え、当選をされ、やがて1年が経とうとしている。

村長の基本政策として、幸せ度の高い村づくり、活力ある村づくり、安心安全で持続可能な村づくり、人口減少対策の4つ

を掲げ取り組んでいくとの事だが、第6次長期総合計画の中にも人口減少対策の要点として、地域を元気にする人口問題対策が掲げられている。

第6次長期総合計画の冒頭では、人口問題に触れ、日本全国で人口が減少していく中、現状の人口を維持し続けるのは難しく、少ない人口でも持続可能な地域社会の実現

に向けた検討を進める時期に入ったのではないかと書かれている。

本村では、これまで西米良ならではの取り組みや、少ない人口だからこそ出来る施策を取り組んで来られた。

その結果が、今日の緩やかな人口減少に繋がっていると感じるが、解決策が見出せたわけではないと感じている。

人口減少がもたらす影響として、一番に村内でのマンパワー不足が挙げられるが、それ以外にも様々な影響が出ている。

村長は、前村長の意志を引き継ぎこれからの村政に臨まれて行くわけだが、人口減少問題について、どの様な考えを持っているのか。

村長 本村における人口動向は、令和2年の国勢調査の結果、令和2年10

月1日時点で丁度1000人であった。しかしながら、今年3月1日の人口は住民基本台帳で1068名だが、実際の現住人口は961人で、確実に人口減少が進んでいる。

また、平成27年から令和2年までの減少率はマイナス8.2%で、自治体の中では8番目に高い水準となっている。

出生者と死亡者数を差し引いた自然動態では、死亡者数が出生者数を大きく上回っている状況であることから、第6次長期総合計画において、分野別施策の基本的方向の冒頭にある、地域を元気にする人口問題対策における具体的な取り組みが必要となっている。長期的には、子供たちに村での仕事への関心が高まる取り組みを行い、将来Uターン者の増加を目指す

施策等もある。

しかしながら、人口減少は喫緊の問題で、今すぐにも取り組むべき対策を講じなくてはならない。そこで4月から役場庁舎外に移住定住対策室を新たに設置し、人口減少問題の解決を図る一環として、移住・定住に係る業務を専属で活動できる体制を整え、その中で移住者を受け入れる体制を整備していく。今までのように、単に移住を希望する人たちを幅広く受け入れるのではなく、関係人口を利用し、ターゲットを絞り込んだ形で取り組みたいと考えている。人口減少による1番の問題は、マンパワーの不足であり、各事業所での働き手不足はもちろん、各地区や地域の行事や催事、イベントにおいても、高齢化や人手不足、担い手

不足により開催や継承が難しくなっている。そこで、移住定住対策室が窓口となり、各分野、事業所、地域において必要とされる人材、必要とする人材を把握することから始めていく予定としている。

解している方、関わりを持っている方にターゲットを絞って、移住から定住までつながる取り組みを重点的に行っていききたいと考えている。

おられる。松之本団地のように村が開発した宅地に多くの新しい住宅が生まれたことは需要の表れだと考える。

繋がるのではないかと考える。個人の所有地では難しいが村有地であれば実現可能ではないか。宅地の分譲について村長の考えを伺う。

を進めているところであるが、台風14号等及び公共事業の受注の影響で、建設工事に着手できる業者もないことから、宮之瀬住宅の建設には多少の時間がかかる。現在の松之本団地についても昭和57年に宮崎県が行った河川工事の際の盛り土によって生じた土地であり、平成16年に発生した八重

田爪朝幸 議員



新たな宅地分譲の考えは ▼ 前向きに 検討する

その後、対策室がプラットホーム的な役割を担い、その人材についてリサーチや、事業所と地域とのつなぎ役やサポート役を併せて担っていききたいと考えている。その際、何かしら本村と関係、関連のある人脈を生かして、必要とされる資格やその分野で経験のある人材を見つけ、交渉し、来ていただくようなことも想定している。これまでのような広範囲的な移住者の受け入れではなく、今までの取り込みもある程度維持しつつ、村の出身者や西米良での生活や文化などがある程度知って理

現在、西米良村では様々な移住定住のための施策に取り組んでおり、村の取り組みがイターン、Uターンの者の住居確保の大きな助けとなっている。その中で村内に一定期間住んでいる方の中には、結婚や子育てのため、いつかは自分の家を建てたいという思いを持つ方も

おられる。松之本団地のように村が開発した宅地に多くの新しい住宅が生まれたことは需要の表れだと考える。

繋がるのではないかと考える。個人の所有地では難しいが村有地であれば実現可能ではないか。宅地の分譲について村長の考えを伺う。

を進めているところであるが、台風14号等及び公共事業の受注の影響で、建設工事に着手できる業者もないことから、宮之瀬住宅の建設には多少の時間がかかる。現在の松之本団地についても昭和57年に宮崎県が行った河川工事の際の盛り土によって生じた土地であり、平成16年に発生した八重

ただ、学校跡地のグラウンドについては、地区によってはグラウンドゴルフ等の行事の際の駐車場として利用、また急傾斜地の問題、水道に利用する水源の確保など様々な課題もあるので、地区との協議をしっかりと行うことが必要である。なお、上米良地区に令和2年度に建設した山村定住住宅の横には広大な敷地があり、水道施設も整備されている。当初村営住宅の建設用地として整備しており、そのような村有地も譲渡に向けて今後検討をしていきたい。また定住と言う観点から申し上げると、村が管理する山村定住住宅は譲渡対象宅地であるので、入居者に購入をいただくよう売買価格の提示など譲渡に向けた取り組みも併せて進めていきたい。

田爪朝幸

実際に家を建

てるとなるとまず土地探しに始まり、地権者との交渉、地目変換等、家を建てるまでにひと手間もふた手間もかかってしまい、断念される方もおられるかと思う。その中で村の土地を宅地分譲していただければ、家を建てたいという気持ちが検討から実現に進むのではないかと。先日、西都に住む東米良出身の方と話をする機会があり、その方からダムができた時の話を聞いた。当時、東米良村の方の住宅が水没してしまつて、お金は頂いたが建てる場所がない。そのため条件の良い西都市に家を建てて出て行く方が多かった。しかし、当時の西米良村の吉良村長は水没する横野、越野尾地区の新たな国道沿いに宅地を造成した。だから、西米良村の方は、多くの方がそこに家を建て、村

内に残つたという話を聞いた。やはり家を建てる場所がなければ、違う場所に家を建てるという選択肢も出てくる。それを防止する施策が必要であると考え。グラウンドのことであるが、全てではなく、一部でも良いと考える。この西米良の土地は元々菊池の殿様の土地で、当時の殿様がこの土地で生きていつてほしいと分け与えられたもので、そのおかげで私たちが子孫はここに住んでいると思う。村の財産ではあるが、これを村民の財産として分け与えて、これから30年、50年住み続けられるような住宅ができればと期待している。

村長

定住促進を図るた

めには、やはり暮らしと
いう中で衣食住の住を
考えていく必要があると
思う。本村の未来をしっ
かりと思ひやる施策を行

って参りたいと思う。議員のご指摘のとおり、前向きに検討したいと思う。田爪朝幸 西米良の土地を買って、家を建ててこそが、西米良村への本当の意味での定住になると思うため、ぜひとも進めていただきたい。

児玉義和 議員



「村内の神楽」への 今後の対応は

▼ 未来永劫に
保存継承する
体制を整えていく

村内の神楽が国の重要無形民俗文化財に指定された。この件については、教育委員会が指定に向けての手続きを10年くらい前に開始され、長きにわたり調査、申請手続き等

に尽力いただいたところである。そのご苦労は人に言い知れぬものがあつたことと思う。従事された関係各位に対し心から感謝と敬意を表したい。さて、諸氏のご苦労のおかげでめでたく指定を受け取ることができたが、今後この神楽をどのようにして維持していくか、考慮すべき時期にきていることを忘れてはならない。指定の後どう変わるのかということである。

支援の内容については、保存会に対して必要経費の助成、道具の購入、修繕費用と聞いている。それはそれで大変ありがたいうことはあるが、各地区でこの神楽を守り、祭りを開催していくためにネックになっているのが、神楽舞手の後継者がいなくなつたことと、祭り開催において、一番の働き手である氏子の方々の高

第一回定例会
条例制定・改正
現地視察
委員会調査報告
第一回臨時会
監査室より
一般質問

齢化が進み、準備、運営にかかる負担が大きくなってきたことである。国からの支援は、祭りそのものの運営費等は該当しないと聞いている。人口の減少が進む中、氏子会あるいは地区での活動が年を追うごとに厳しくなっているのは、ご存じのとおりである。

文化財の保護という観点から何らかの支援が必要であると思う。各地区の神楽保存会等との連携を強化し、村全体で守るべき問題であると思うが、教育長のお考えをお聞きたい。

教育長 教育委員会では、平成25年度から西米良村の神楽を国の重要無形民俗文化財指定に向け、議会の皆様の協力を得て調査研究を開始した。そして平成29年3月に記録作成等の措置を講ずべき民俗文化財に指定され、文

化財に精通する方々や西都市、木城町にもご協力ご支援をいただきながら、本格的に各地区の神楽について調査を行い、報告書を令和2年3月に作り上げ文化庁に提出した。その後、国の文化審議会を経て、本年1月に米良の神楽として国の重要無形民俗文化財として指定を受けるものである。これもひとえに各団体の神楽保存会長を始めとする、保存会の方々、調査等にご協力ご支援いただいた、関係者の皆様のご理解ご支援の賜物であり、心より感謝申し上げます。

良に根付いてきた神楽を保存・継承していくことは、今に生きる私たちの使命であると強く感じているところである。国の重要無形民俗文化財に指定されると、用具の修理、新調等に対して国の補助金を活用することができ、先ほどご指摘の通り、運営等への保証はないと言うことである。神楽を伝承していく保存会、氏子会の高齢化や会員の減少が進んでおり、神楽の催行にかかる負担が年々増加していると認識をしている。そこで教育委員会として、大祭に関する運営の補助、後継者育成に重点的に取り組んでまいりたいと考えているところである。まず、大祭に関する運営の補助については、本議会に提案をしているが、神楽実行組織である団体等に対し運営費

の補助をすることとしていく。補助対象経費としては、大祭に係る出役に対する謝金や消耗品等に充てることを想定している。準備から大祭終了までの出役に対する金銭的支援、人手不足を解消する一助になるのではないかと考えている。

ていく後継者の育成に大きな役割を担っていると感じている。これからの引き続き保存会の方々のご協力をいただきながら継続して実施し、後継者育成に努めていきたいと考えている。また、神楽の催行に際し、中山間地域盛り上げ隊等との連携強化や、村内に支援する仕組み作りも検討していきたいと考えている。

その中で神楽の魅力を体感していただき、神楽を担っていく新たな後継者が誕生することを願っているところである。以上、大祭の運営の補助、後継者育成に重点を置き、各神楽保存会等との連絡調整を密に取りながら、西米良村の宝である西米良神楽を、未来永劫に保存継承する体制を整えていく所存である。また、役場職員を始め、村民全体で神楽を守り、支え、

盛り上げていくことができるような気運の醸成を図っていきたいと考えているところである。

黒木敏浩 議員



新年度予算に込めた村長の思いは

人口減少問題 対策で、移住を 定住対策室に 役場外に設置

村長は昨年4月に就任され、新たな西米良村のリーダーとして村政運営をスタートされたが、令和4年は引き続き新型コロナウイルスの感染拡大や、9月には大型台風14号が襲来し、村内に多大な被害をもたらしたことから、政策への取り組みは、不利な状況であったと思っている。

昨年9月議会における児玉義和議員の質問に対して、具体的に進めている政策、今後積極的に取り組まなければならない政策について答弁されたが、一部の事業については、庁内に立ち上げたプロジェクトチームで検討し、解決策や今後の方向性が決定されたものもあると聞いている。

令和5年度の当初予算は、村長が一から携わられて、政策実現のための予算編成がなされたものと思っている。

本年5月には、新型コロナウイルス感染症の分類が、2類からインフルエンザと同等の5類になり、様々な行動制限が緩和され、アフターコロナの社会生活が活発化するものと思われる、村民も、今後の社会情勢や村長の村政運営については、大きな期待を持って注目しているところであるため、次の2点について伺いたい。

1点目は、「新年度予算に込めた村長の思い」、2点目は、予算には財源の確保が必要であるが、地方交付税等に依存する割合が高く、自主財源の割合が低い本村では厳しい財政運営となっており、

職員一人一人が本村に今現在起きている問題、これから起こりうる問題を解決できる事業計画、予算編成を行うとともに、村民が日常に幸せを追求し、実現できる環境の整備に取り組むこととした。

令和5年度の当初予算編成については、例年より1ヵ月ほど早い10月5日に編成方針説明会を開催し、職員との政策議論や事業内容の調整に時間を設けた。また基本方針では、幸せ度の高い村づくり、活力のある村づくり、安心安全で持続可能な村づくり、人口減少問題を柱とした。

4月からは移住定住対策室を設置し、本格的に人口減少問題の窓口として運用を開始する。これまで担当主任と担当を配置し、準備してきたことをしっかりと形にしていきたいと考えている。

高齢者の移動手段の確保についても、検討チームから出された方向性をしっかりと検証し、可能なものから実現に向けて施策を進めていく。もちろんこれまで取り組んできた、カリコボーズの宿

長期総合計画の基本目標であるカリコボーズと1000人が笑う村、菊池の精神を受け継ぐ令和の桃源郷の実現を図るため、限られた財源の中で、

大きな予算を伴う事業や災害

村長

村長就任から11ヵ月が経過し、その間、村政をけん引していく者と

害復旧事業についても、引き続き早期完了を目指して推進していく。

そのためには財源が必要となる。自主財源の乏しい本村では、財源を確保することは非常に難しく、大変重要なこととなる。過去にも大きな予算を伴う事業が計画される場合には、庁舎整備基金やふたば園施設整備基金、双子キャンプ場整備基金などを設置し、後年度の費用負担の軽減を図ってきた。これからも計画的に基金への積み立てや積み返しを行い、自主財源の確保を努めていくが、令和5年度の当初予算を見る限り非常に厳しい状況である。地方財政計画では、地方交付税の総額を増額することとしている。昨年度並みの交付税は確保できると考えているが、今後とも国や県の

動向をしつかりと注視し、補助金や交付金の活用を基本に、過疎対策事業債をはじめとする有利な地方債の借り入れなど、可能な限り財源を確保することに努める。令和5年度も一步一步着実に「西米良の未来を思いやる幸せ度の高い持続可能な村づくり」の実現を図るべく取り組んでいく。

黒木敏浩

熱意を持って取り組まれると言う事は十分に伝わってきたが、当初予算を見た時に、村長の色がまだ出ていないという印象を受けた。

村長の予算にかける思い等を住民に対してどう伝えるかが大変重要になるが、このことについて何か方法を考えているのかお聞きしたい。

また、財源は厳しい状況にあり、地方交付税等の確保に務め、大きな予

算については基金の設置も考慮し、事業の必要性を考えながら、事業の見直しも必要だと思いが、その取り組みについて、村長の考えをお聞きしたい。

村長

1点目については、昨年の10月位に村民の座談会を開くことを予定していたが、コロナと台風

災害等により、実施できなかったことは非常に残念に思っている。これについては、早急に新年度に計画し、村民にわかりやすい施策等含めてまたお伝えする場を設けたいと考えている。財源については、限られた財源となる。そして、事業の見直し等も、目的を持ったものに関しては財源を確保し、その中で予算が限られていたため、何を削って、何をそこに充てていくかが今から私の色に

なってくると考えている。令和5年度も、昨年の台風等もありなかなか色を出しにくいという指摘もあったが、その都度その都度私が考えたものを、職員にしっかりと意思伝達を行って事業を進めていきたいと考えている。

また、自主財源のこと

については、ふるさと納税、更には、今企業版のふるさと納税というものもある。昨年、ふるさと納税に関しては、令和3年度が7,234,000円であったが、今年度は10,085,000円と

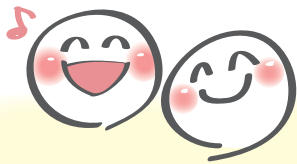
少しずつ上がっている。これに関しても、村内の商品を開発するなどして、ふるさと納税のアップに努めていきたいと考えている。企業版のふるさと納税に関しては、企業の方から1,000,000円を3件ご寄附いただい

た。これに関しても、西米良の取り組みをアピール、情報発信していきながら、村民が丸となつて前に向かって頑張っているところを見せることで、企業の支援をいただくということも可能性の一つとして考えているところである。

黒木敏浩

村民への説明については、座談会を計画されるということなので、その場で村長の意見を村民にお伝えいただきたいと思う。

財源の確保については、企業版ふるさと納税が3件あるとのことだが、西米良が頑張っていることが、村外の方からの応援に繋がっていると思うため、行政として発信して財源確保に繋げ、課題については、優先順位をつけて取り組んでいただきたい。



ほっとコーナー

受賞おめでとうございます

◆自治功勞表彰(2名)

上米良秀俊議長と濱砂恒光議員が15年以上議員を務め、その功勞により全国町村議会議長会自治功勞表彰を受賞しました。

◆永年勤続表彰(1名)

上米良玲議員が、12年以上議員を務めたことにより、宮崎県町村議会議長会表彰を受賞しました。



編集後記

青葉若葉の映える美しい風景とともに棚田では、田植えの準備も始まる季節となりました。

5月8日からは、新型コロナウイルス感染症も2類から5類へ移行されます。親しい人たちの再会や楽しい会話を待ち望む方々の笑顔が、あちらこちらで見受けられるのではないのでしょうか。

1000人が笑う村のごとく村民一丸となりアフターコロナに向けて取り組んで参りましょう。
(玲)

議会広報常任委員会

委員長 上米良 玲
副委員長 児玉 義和
委員 田爪 朝幸
黒木 敏浩